

4. マテリアルフロー

◎硯石事業所

インプット

◎原材料

- ・土 504 t
- ・碎石 1,129.3 m³
- ・再生覆土 2,80 t
- ・生コン 1,234.75 m³

◎エネルギー

- ・購入電力 75,056 kWh
- ・灯油 1,179 L
- ・LPG 59.2 kg
- ・ガソリン 7,349.38 L
- ・軽油 153,625.66 L

◎受入廃棄物量

- ・安定五品目 72,335.24 m³

◎水

- ・貯水池の水を使用



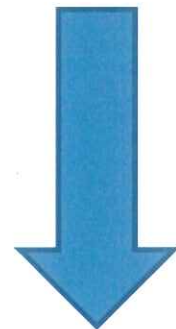
事業活動

廃棄物処理（埋立）

場内整備

オフィス活動

拡張工事



アウトプット

◎温室効果ガス

- ・二酸化炭素 462,298.49 Kg-CO₂

◎排水量

- ・定期的水質検査



インプット

◎エネルギー

- ・ 購入電力 63,048 kWh
- ・ 灯油 78 L
- ・ LPG 158.8 kg
- ・ ガソリン 366.62 L
- ・ 軽油 69,256.33 L

◎受入廃棄物量

- ・ 廃プラスチック 809.838 t
- ・ 金属くず 571.222 t
- ・ ガラス・陶磁器くず 378.9 t
- ・ がれき類 604.802 t
- ・ ゴムくず 0.468 t
- ・ 木くず 490.165 t
- ・ 紙くず 231.165 t
- ・ 繊維くず 1.08 t

◎水

- ・ 上水 150 m³
- ・ 工場用水 139 m³

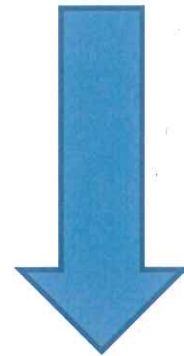


事業活動

廃棄物処理（収集運搬）

廃棄物処理（中間処理）

営業・オフィス活動



アウトプット

◎温室効果ガス

- ・ 二酸化炭素 215,996.318 Kg-CO2

◎廃棄物

- ・ リサイクル量 11.3 t
- ・ 最終処分量 2,236.802 t

◎排水量

- ・ 把握困難な為上水使用量と同じ

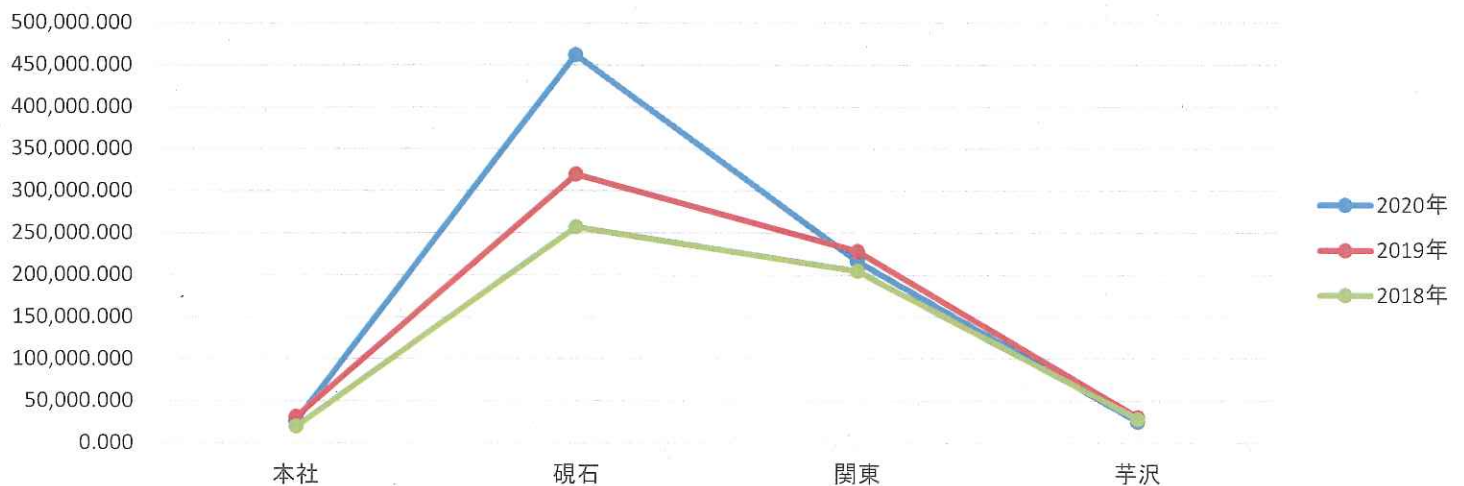


5-1. 環境への負荷の状況(取りまとめ表)

2020年(2020.5~2021.4)

部署			全社	本社	碓石	関東	芋沢	
環境への負荷		単位	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	730,691.059	26,727.729	462,298.490	215,996.320	25,668.520	
② 受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	4,846.510			4,846.510		
	中間処理用	t	3,087.640			3,087.640		
	うち再資源化等量	t	11.300			11.300		
	最終処分量	m ³	72,335.240		72,335.240			
	内訳	廃プラスチック	m ³	55,632.200		55,632.200		
		ガラス・陶磁器	m ³	9,722.400		9,722.400		
		がれき	m ³	6,841.310		6,841.310		
		金属	m ³	139.330		139.330		
		ゴム	m ³	0.000		0.000		
		中間処理後の産廃の処分量	t	2,248.102			2,248.102	
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t	11.300			11.300		
③ 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	(焼却)	t	0.942	0.123	0.386	0.433	
		(リサイクル)	t	0.256	0.256			
		最終処分量	t	0.000				
	産業廃棄物	(中間処理)	m ³	815.680		20.000	795.680	
		(再資源化)	t	11.060			11.060	
		最終処分量	t	2,007.093			2,003.293	3.800
④-1 総排水量	公共用水域	m ³	0.000					
	下水道	m ³	1,747.000	1,410.000		289.000	48.000	
④-2 水使用量	上水	m ³	1,608.000	1,410.000	調整池の水を利用	150.000	48.000	
	工業用水	m ³	139.000			139.000		
	地下水	m ³	0.000					
⑤ 化学物質使用量	剥離剤	L	1,400.000				1,400.000	
⑥ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	1,557,052.340	36,823.180	737,800.480	619,761.84	162,666.84	
	化石燃料	MJ	9,193,681.470	106,151.200	6,169,029.9	2,669,111.2	249,389.17	
	新エネルギー	MJ	0.000					
	その他	MJ	0.000					
⑦ 物質使用量	資源使用量	枚	67,500	33,000	8,000	26,500	別紙	
	循環資源使用量	t	2,080.000		2,080.000			

温室効果ガス排出量

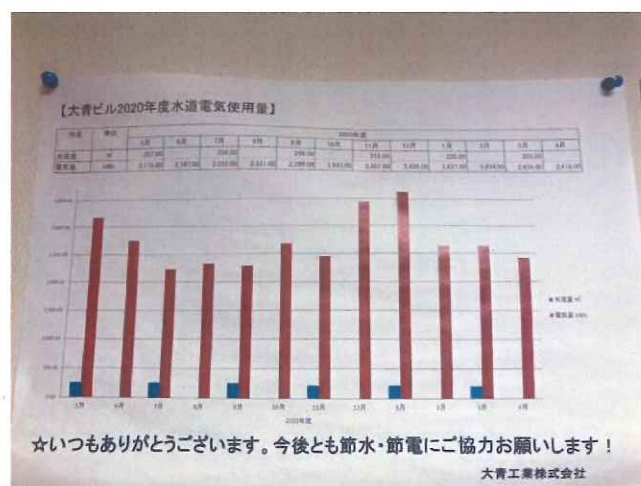


6. 環境活動目標（本社）

環境活動目標を以下のように定める。

① 節電、節水に努める。

- ・ポスターを掲示して個々の意識を強める。



② 防災訓練を1年に1回確認する。

6. 環境目標（硯石）

2019 年度実績を基準として各年度以下のように定める。

	項 目	2019 年度 (基準値)	2020 年度	2021 年度	2022 年度
二酸化炭素排出量	電力使用量	7.7 kWh/m ²	3%減	5%減	6%減
	(Kwh)		7.5	7.3	7.2
	ガソリン	0.1 L/m ²	3%減	5%減	6%減
	(L)		0.097	0.095	0.094
	軽油	1.35 L/m ²	3%減	5%減	6%減
	(L)		1.31	1.28	1.27
	灯油	934	3%減	5%減	6%減
	(L)		906.0	887.3	878.0
	プロパン	48.9	3%減	5%減	6%減
	(kg)		57.4	56.2	55.7
	合 計	4.18kg-co2/m ²	3%減	5%減	6%減
(kg-CO2)	4.05		3.97	3.93	
廃棄物量	一般廃棄物	277.1	3%減	5%減	6%減
	(kg)		268.79	263.25	260.47
	不適格物の受入ゼロ	原則 100%	100%	100%	100%
排水量	下 水	事務所の水は貯水池の水を利用	事務所の水は貯水池の水を利用	事務所の水は貯水池の水を利用	事務所の水は貯水池の水を利用
	水質調査	月 1 回	月 1 回	月 1 回	月 1 回
グリーン	グリーン購入	原則 100%	100%	100%	100%
	裏紙使用率	原則 100%	100%	100%	100%
周辺環境	ゴミ拾い	年 1 回	年 1 回	年 1 回	年 1 回
	防災訓練	年 1 回	年 1 回	年 1 回	年 1 回

※購入電力の排出係数は、グリムパワーが 2019 年度に公表した 0.680Kg-CO2 を使用

※数値は切り捨てで計算

※P R T R に該当する物質はない。

※電力使用量、ガソリン、軽油、二酸化炭素排出量は使用量をそれぞれ受入れ廃棄物処理量で割った値。

6. 環境目標（関東）

2019 年度実績を基準として各年度以下のように定める。

	項目	2019 年度 (基準値)	2020 年度	2021 年度	2022 年度
二酸化炭素排出量	電力使用量	220.59kwh/t	3%減	5%減	6%減
	(Kwh)		213.97	209.56	207.35
	ガソリン	635.61	3%減	5%減	6%減
	(L)		616.54	603.83	597.47
	軽油	18.23L/t	3%減	5%減	6%減
	(L)		17.68	17.32	17.14
	灯油	240	3%減	5%減	6%減
	(L)		232.8	228	225.6
	プロパン	161.2	3%減	5%減	6%減
	(kg)		156.36	153.14	156.36
合計	60.94Kg-CO2/t	3%減	5%減	6%減	
(kg-CO2)		59.11	57.89	57.28	
廃棄物量	一般廃棄物	387.1	3%減	5%減	6%減
	(kg)		375.49	367.75	363.87
	受託廃棄物のリサイクル率向上	26%	3%増 31%	4%増 32%	5%増 33%
排水量	下水	378	3%減	5%減	6%減
	(m ³)		366.7	359.1	355.3
	水質調査		-	-	-
グリーン	グリーン購入	原則 100%			
			100%	100%	100%
	裏紙使用率	原則 100%			
			100%	100%	100%
周辺環境	ゴミ拾い	年 1 回			
			年 1 回	年 1 回	年 1 回
	防災訓練	年 1 回			
			年 1 回	年 1 回	年 1 回

※購入電力の排出係数は、リックスが 2019 年度に公表した 0.623Kg-CO2 を使用

※数値は切り捨てで計算

※P R T R に該当する物質はない。

※電力使用量は、購入電力を中間処理廃棄物量で割った値。

※軽油は、軽油消費量を収集運搬量で割った値。

※二酸化炭素排出量は、二酸化炭素合計量を中間処理廃棄物量で割った値。

承認	作成

6. 環境目標（芋沢）

2019 年度実績を基準として各年度以下のように定める。

	項 目	2019 年度 (基準値)	2020 年度	2021 年度	2022 年度
二酸化炭素排出量	電力使用量	1,977.4Kwh/ヶ所	3%減	5%減	6%減
	(Kwh)		1,918.08	1,878.53	1,858.76
	ガソリン	50.39L/ヶ所	3%減	5%減	6%減
	(L)		48.88	47.87	47.37
	軽油	653.24L/ヶ所	3%減	5%減	6%減
	(L)		633.64	620.58	614.05
	灯油	984	3%減	5%減	6%減
	(L)		954.48	934.8	924.96
合 計	3,103.9kg-co2/ヶ所	3%減	5%減	6%減	
(kg-CO2)		3,010.78	2,948.70	2,917.67	
廃棄物量	一般廃棄物	46.35	3%減	5%減	6%減
	(kg)		44.96	44.03	43.57
	材料の再利用	原則 100%	100%	100%	100%
排水量	下 水	73	3%減	5%減	6%減
	(m ³)		70.81	69.35	68.62
	水質調査		-	-	-
グリーン	グリーン購	原則 100%	100%	100%	100%
	入		100%	100%	100%
	裏紙使用率	原則 100%	100%	100%	100%
周辺環境	ゴミ拾い	年 1 回	年 1 回	年 1 回	年 1 回
			年 1 回	年 1 回	年 1 回
	防災訓練	年 1 回	年 1 回	年 1 回	年 1 回

※購入電力の排出係数は、グリムパワーが 2019 年度に公表した 0.680Kg-CO2 を使用

※数値は切り捨てで計算

※PRTTRに該当する物質はない。

※電力使用量、ガソリン、軽油、二酸化炭素排出量はそれぞれの使用量を現場数で割った値。

承認	作成

7. 環境目標・環境活動計画実績評価表ならびに次年度の取組

環境活動計画／実績表

【2020年5月～2021年4月】

月別の計画／実績・評価

環境目標	活動計画 (取組の内容)	実績値評価：達成○、未達成(80%以上)△、未達成(80%未満)× 活動評価：充分○、不十分△、未実施×						計	1年評価
		本社	碓石	関東	芋沢	計			
二酸化炭素排出量 (kg-co2)	計画 前年度比3%減	△	△	△	○	△			
	目標	19,517,038	244,525,92	194,427,36	27,385,00	485,855,338			
	実績	26,727,729	462,298,49	215,996,32	25,668,52	730,691,059			
電力使用量の削減	機械の運転は計画的に行う	○	○	○	○	○			○
	エアコンの設定管理	○	○	○	○	○			○
	エアコンの清掃	○	○	○	○	○			○
	不要な照明等の消灯徹底	○	○	○	○	○			○
電力使用量 (kwh/月)	計画 前年度比3%減	△	△	○	○	○			○
	目標	28,369	58,158,05	108,339,9	19,660,25	214,527,2			
	実績	37,464	75,056,00	63,048,0	16,548,00	192,116,0			
自動車燃料使用量の削減	エコドライブの推進	○	○	○	○	○			○
	日常点検整備の実施	○	○	○	○	○			○
	過積載の回避	○	○	○	○	○			○
	車両燃費の向上	○	○	○	○	○			○
ガソリン使用量 (l/月)	計画 前年度比3%減	△	△	○	△	△			△
	目標	1,098,71	5,078,02	1,300,38	179,22	7,656,33			
	実績	2,175,50	7,349,38	366,62	661,52	10,553,02			
軽油使用量 (l/月)	計画 前年度比3%減	-	△	△	△	△			△
	目標	-	75,204,66	49,222,84	5,193,13	129,620,63			
	実績	719,8	153,625,66	69,256,33	5,439,77	229,041,56			
パソコン使用量 (m/月)	計画 前年度比3%減	-	○	△	-	△			-
	目標	-	62,13	122,83	-	184,96			
	実績	-	48,90	161,20	3,3	210,1			
一般廃棄物の削減	分別の徹底	○	○	○	○	○			○
	再資源化の強化	○	○	○	○	○			○
	ミスコピーの防止	○	○	○	○	○			○
一般廃棄物量(kg)	計画 前年度比3%減	○	△	△	○	△			△
	目標	410,00	199,97	302,95	25,17	938,09			
	実績	379,00	386,00	432,90	24,80	1,202,7			
不適格物の受入ゼロ	展開検査の徹底		100%	100%					
	節水を心がける	○	○	○	○	○			○
用水使用量の削減	漏水の定期点検実施	○	○	○	○	○			○
	計画 前年度比3%減	○	○	○	○	○			○
	目標	1,489	-	334,4	212,8	2,078,72			
	実績	1,410	-	289,0	48,0	1,747,00			
放流水の水質調査	計画 水質基準以下	○	○	○	○	○			○
	実施								○
グリーン購入の推進	計画 原則100%	○	○	○	○	○			○
	実施	100	100	100	100				
受託廃棄物のリサイクル向上	計画 前年度比3%増			○					○
	目標			5,8%					
	実績			40,0%					
1年活動後の総合評価	前年度同じく、拡張工事の影響で二酸化炭素量、軽油使用量が増加してしまつた。用水使用量、電力使用量は目標達成している部署も多いので個人個人の意識が高まつてきたのではないかと思う。引き続き、節電・節水・説資源に努めていきたい。								
次年度の取組	拡張工事の影響で数値が大幅に増加したため、2021年度は目標設定方法を考え直した。次年度は、目標達成になるか期待しつつ、個人個人で出来ることはきちん意識していきたいと思う。また、関東営業所の電気を水銀灯からLEDに変えたのでその点も結果を見ていきたい。								

8. 環境法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規・条例・規制	遵守事項
騒音規制法	特定建設作業の届け出、規制基準の遵守
振動規制法	特定施設設置の届け出、規制基準の順守
廃棄物処理法	水質検査、最終処分基準省令の基準の遵守、廃棄物処理基準の遵守、適正な委託契約の実施、マニフェストの適正運用管理、マニフェストに関する年度報告、廃棄物処理施設の維持管理
水質汚濁防止法	事業場からの公共用水域への排出の規制
大気汚染防止法	発生施設設置の届け出
最終処分基準省令	消火施設の備えつけ、残余容量の測定、石綿含有産業廃棄物の埋立位置の図面作成、保存、浸透水の採取設備の設置、展開検査の実施
浄化槽法	浄化槽設置届出書、浄化槽の清掃、水質検査
家電リサイクル法	電化製品の処理
自動車リサイクル法	自動車の廃車・買い替え
群馬県の生活環境を保全する条例	工場の新設・増設する場合の届け出
仙台市産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱	産業廃棄物処理計画実施状況報告書の提出、マニフェストの保存、廃棄物処理施設の維持管理、市内搬入処理承認書の確認
フロン排出抑制法	簡易点検の実施

※環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟、関係当局からの指摘もありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直しの記録

代表者	環境管理責任者

<対象期間> 2020年5月1日 ~ 2021年4月30日

通達年月日	2021年6月1日	代表者	青澤誠治
1. 環境経営システムが有効に機能しているか		2. 環境への取組は適切に実施されているか	
<p>全体的に見て、概ね有効に機能しているように思う。ただ、エコアクション活動も6年目に入り、数値目標を達成するだけでは限界が出てきたので、今度の目標設定のあり方を考える時期かと思う。</p>		<p>環境への負荷の低減、周辺地域への快適性の維持等適切に取り組むことができた。目標値を達成できない事項もあったが、拡張工事の影響等突発的な原因であるが、2021年度は目標値を設定しなおしたので次年度に期待したい。</p>	
3. 変更の必要性		<変更の要旨>	
1)環境経営方針	(<input checked="" type="radio"/> 継続 · 変更)		
2)環境経営目標	(継続 · <input checked="" type="radio"/> 変更)	拡張工事に影響のあるものは適切に目標値を立て直す。	
3)環境経営計画	(<input checked="" type="radio"/> 継続 · 変更)		
4)環境経営システム	(<input checked="" type="radio"/> 継続 · 変更)		
4. 推進委員等への指示			
<p>拡張工事、廃棄物搬入量の増加等突発的な原因でオーバーした項目はもう一度目標値を考え直し、それ以外はもう一度。節電、節水、節資源に努めるよう声かけ、意識づけし、推進すること。</p>			

※「代表者による全体の評価と見直し」は毎年6月に実施する。この他、経営者が必要と判断した場合には、随時実施する。